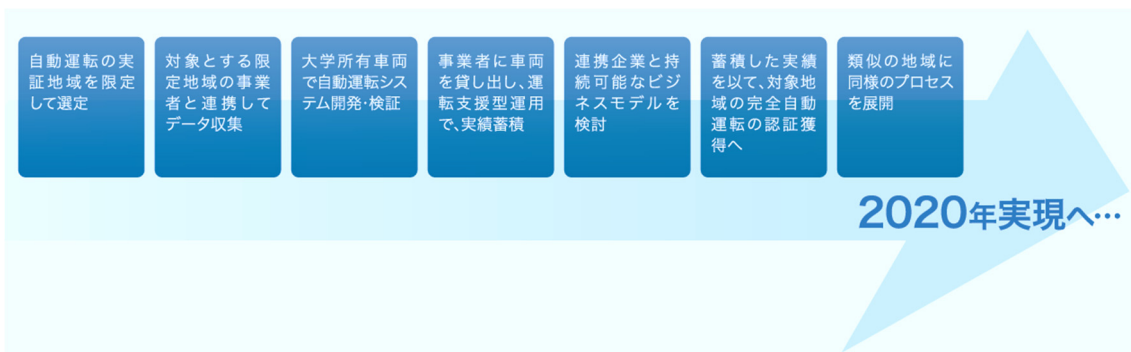




前橋市における自動運転研究の取組みを開始します

～路線バス自動運転実証実験を目指すことで合意しました～

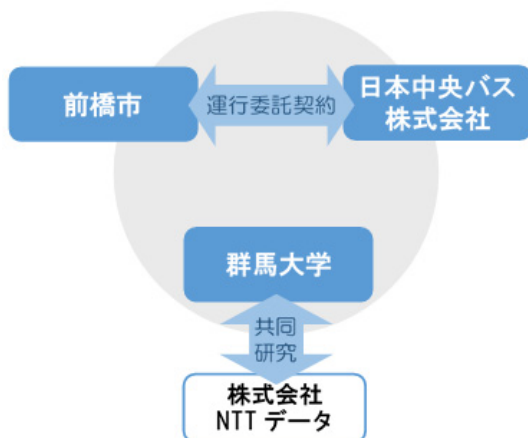
群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センターは、限定された地域専用の自動運転研究開発に取り組み、実証実験の実績を蓄積していきながら、2020年に、技術的にも社会的にも自動運転に対応していく社会の実現、完全自動運転をはじめとする次世代モビリティの社会実装を目指します。



次世代モビリティ社会実装研究センターが取り組む自動運転実証実験では、対象となる限定地域の事業者・企業と連携した研究を行います。本センターは、群馬県をはじめとする、全国の特徴ある地域との実証実験の実施協定を締結し、連携する事業者・企業が目指す自動運転研究開発に即した、地域での実証実験を進めていきます。

この度、群馬大学と前橋市、日本中央バス株式会社は、JR 前橋駅と上毛電鉄中央前橋駅を結ぶシャトルバスで、路線バスの自動運転実証実験を目指すことで合意しました。

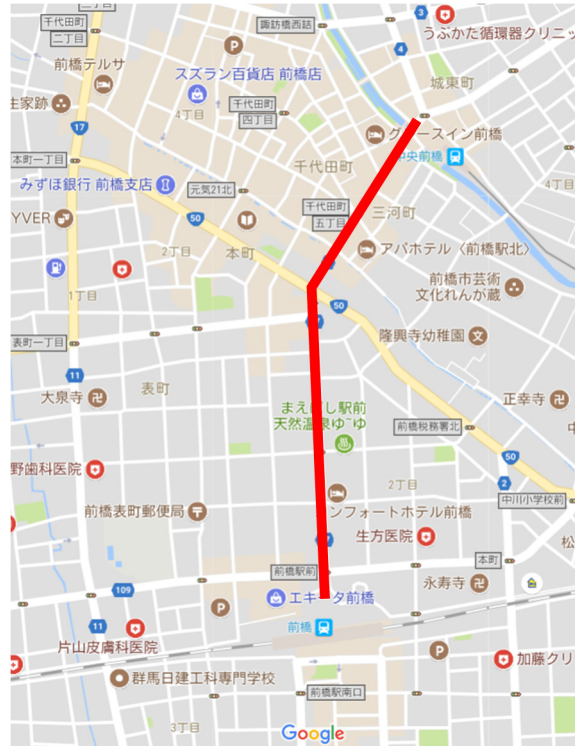
【自動運転実証実験の役割分担】



	役割
群馬大学	自動運転システム実証実験パッケージの提供および実証実験の実施、その他関連する自動運転実証実験事業等 (株式会社 NTT データは、自動運転プラットフォームとサービスの構築に関する群馬大学との共同研究を行っており、これを通じて本実証実験に参画予定)
前橋市	実験フィールドの提供、公共機関等関係機関との調整、情報発信等
日本中央バス株式会社	運行に関する支援および車両運転者等の提供、車両運転に関する技術の提供等

実験場所

JR 前橋駅と上毛電鉄中央前橋駅を結ぶ、前橋市の公共交通シャトルバス（走行キロ約 1.0km）において、自動運転実証実験を実施します。



(出所：Google マップをもとに群馬大学作成)

実験車両



実験車両の例

実験車両は全て、車体の内部や上部に実験内容に応じた様々な装置を法令に適合した方法で取り付け、自動運転を行います

実験車両のステッカー

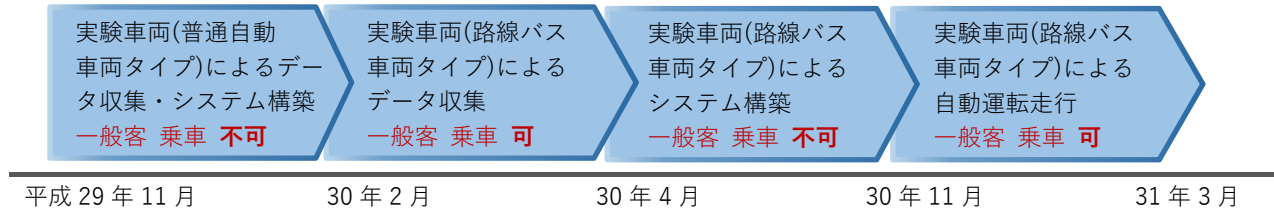


実験車両には「実験用車両」と書かれたステッカーを表示します

実験期間

平成 29 年 11 月から平成 31 年 3 月末までの期間、不定期に実施します。

実験スケジュール（目標）



安全性

本自動運転実証実験は、警察庁が定める「自動走行システムに関する公道実証実験のためのガイドライン」(平成 28 年 5 月) にしたがって実施します。自動運転中の運転席には、車両の免許を持ち、自動運転システムを十分に理解した運転手が、ハンドルに両手を添えながら搭乗しています。車両は、運転者の運転操作が最優先されるよう設計がされて、一般的な自動車と同様の安全性が確保されています。

本件に関するお問い合わせ先

群馬大学 研究・産学連携推進機構 研究・産学連携戦略本部 U R A 室

(次世代モビリティ社会実装研究センター担当：宇野) TEL：027-220-7547 (直通)